

思考力・判断力・表現力等を身に付け、福祉の見方・考え方を養成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立龍野北高等学校 寺脇 琢真


<b>本時の目標</b> ・各国の高齢化率の推移と諸外国の福祉政策を理解し、考察を通して問題意識を持つ。 ・問題意識を課題につなげ、解決策を考察する。	校種・学年	高等学校・1年
	教科・領域	福祉
	アプリ・ソフト	・Google フォーム ・Google クラスルーム
	備考	

○本時の展開

	<p>○学習活動（◆指導上の留意点）</p>
導入	<p>○前時の習得度を確認するために Google フォームで小テストを実施する。</p> <p>◆採点を自動で行い、一覧表で確認する。集計したデータから正答率が低い問題の解説をする。</p>
展開	<p>事例に対して問題意識を持つことで、課題の解決方法を考察する。</p> <p>○クラスルームに投稿した PDF をダウンロードし、板書を行う。</p> <p>○各国の現状についてグループで話し合う。話合った内容は、PDF に記入する。</p> <p>◆PDF は穴埋めを基本としながらも、自由に記述できるようにしておく。</p> <p>◆PDF に記入する際、自分の意見は黒色、グループの意見は赤色、他のグループの意見は青色と色分けするよう指示をする。</p>
まとめ	<p>○記入した PDF を提出する。</p> <p>○本時の振り返りアンケートをする。</p> <p>◆提出物から本時の到達度を認識し、次時に補足説明など状況に応じた説明をする。</p>


**育成できる情報活用能力**

◎自動採点システムを活用することで時短に繋がり、効率よく学ぶことができる。




**育成できる情報活用能力**

◎グループで話し合いをし、多角的・多面的に理解する。記入する色を変えることで客観視しやすくなる。



**育成できる情報活用能力**

◎振り返りアンケートをすることで、学びを自己覚知することができる。



<p><b>生徒の感想</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストで学びの確認ができる。</li> <li>・板書をタブレットで行うことで、写真を張り付けられたりオリジナルノートにできる。</li> <li>・ペンの色を変えることで見直ししやすい。</li> </ul>

**<情報活用能力の育成とその効果>**

- ・分かりやすくまとめることができる。
- ・ICT を活用しながらも、黒板も使用するハイブリッド授業を展開することで学びの質は高まっている。